

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年10月25日(2022.10.25)

【国際公開番号】WO2020/166557

【出願番号】特願2020-572244(P2020-572244)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/55(2006.01)

A 6 1 P 7/02(2006.01)

A 6 1 P 13/12(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 K 38/55

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 13/12

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月17日(2022.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

血中のアンチトロンビン活性が100%以下の妊娠高血圧腎症患者に、アンチトロンビンを投与することを特徴とする、妊娠高血圧腎症の治療方法であって、アンチトロンビンの投与対象として、血中のアンチトロンビン活性が100%以下の妊娠高血圧腎症患者を選択することを含む、妊娠高血圧腎症の治療方法。

【請求項2】

収縮期血圧が160mmHg以上または拡張期血圧が110mmHg以上の妊娠高血圧腎症患者に、アンチトロンビンを投与することを特徴とする、妊娠高血圧腎症の治療方法であって、アンチトロンビンの投与対象として、収縮期血圧が160mmHg以上または拡張期血圧が110mmHg以上の妊娠高血圧腎症患者を選択することを含む、妊娠高血圧腎症の治療方法。

30

【請求項3】

血中のアンチトロンビン活性が100%以下、且つ収縮期血圧が160mmHg以上または拡張期血圧が110mmHg以上の妊娠高血圧腎症患者に、アンチトロンビンを投与することを特徴とする、妊娠高血圧腎症の治療方法。

【請求項4】

アンチトロンビンの投与対象として、血中のアンチトロンビン活性が100%以下、且つ収縮期血圧が160mmHg以上または拡張期血圧が110mmHg以上の妊娠高血圧腎症患者を選択することを含む、請求項3に記載の妊娠高血圧腎症の治療方法。

40

【請求項5】

前記妊娠高血圧腎症が早発型妊娠高血圧腎症である、請求項1～4のいずれか1項に記載の妊娠高血圧腎症の治療方法。

【請求項6】

前記アンチトロンビンがヒトアンチトロンビンである、請求項1～5のいずれか1項に記載の妊娠高血圧腎症の治療方法。

【請求項7】

50

前記ヒトアンチトロンピンが遺伝子組換えヒトアンチトロンピン、または血漿由来ヒトアンチトロンピンである、請求項 6 に記載の妊娠高血圧腎症の治療方法。

【請求項 8】

前記遺伝子組換えヒトアンチトロンピンがアンチトロンピン ガンマである、請求項 7 に記載の妊娠高血圧腎症の治療方法。

【請求項 9】

アンチトロンピンを含み、血中のアンチトロンピン活性が 100% 以下の妊娠高血圧腎症患者に投与することを特徴とする、妊娠高血圧腎症の治療用組成物であって、アンチトロンピンの投与対象として、血中のアンチトロンピン活性が 100% 以下の妊娠高血圧腎症患者を選択することを含む、妊娠高血圧腎症の治療用組成物。

10

【請求項 10】

アンチトロンピンを含み、収縮期血圧が 160 mmHg 以上または拡張期血圧が 110 mmHg 以上の妊娠高血圧腎症患者に投与することを特徴とする、妊娠高血圧腎症の治療用組成物であって、アンチトロンピンの投与対象として、収縮期血圧が 160 mmHg 以上または拡張期血圧が 110 mmHg 以上の妊娠高血圧腎症患者を選択することを含む、妊娠高血圧腎症の治療用組成物。

【請求項 11】

アンチトロンピンを含み、血中のアンチトロンピン活性が 100% 以下、且つ収縮期血圧が 160 mmHg 以上または拡張期血圧が 110 mmHg 以上の妊娠高血圧腎症患者に投与することを特徴とする、妊娠高血圧腎症の治療用組成物。

20

【請求項 12】

アンチトロンピンの投与対象として、血中のアンチトロンピン活性が 100% 以下、且つ収縮期血圧が 160 mmHg 以上または拡張期血圧が 110 mmHg 以上の妊娠高血圧腎症患者を選択することを含む、請求項 11 に記載の妊娠高血圧腎症の治療用組成物。

【請求項 13】

前記妊娠高血圧腎症が早発型妊娠高血圧腎症である、請求項 9 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の妊娠高血圧腎症の治療用組成物。

【請求項 14】

前記アンチトロンピンがヒトアンチトロンピンである、請求項 9 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の妊娠高血圧腎症の治療用組成物。

30

【請求項 15】

前記ヒトアンチトロンピンが遺伝子組換えヒトアンチトロンピンまたは血漿由来ヒトアンチトロンピンである、請求項 14 に記載の妊娠高血圧腎症の治療用組成物。

【請求項 16】

前記遺伝子組換えヒトアンチトロンピンが、アンチトロンピン ガンマである請求項 15 に記載の妊娠高血圧腎症の治療用組成物。

40

50